

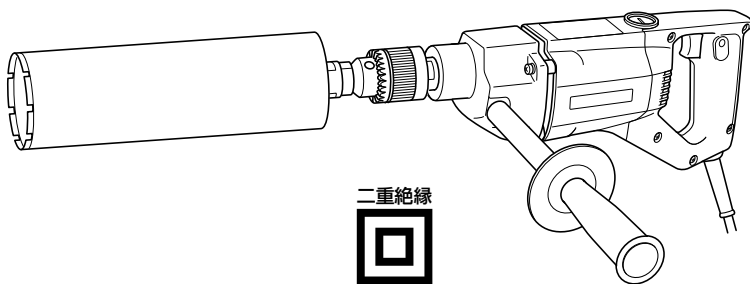
HiKOKI

ダイヤモンドコアドリル

120 mm DC 120 〔ダイヤモンドコアビットは別売〕

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



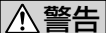
本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

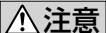
This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

目 次

	ページ
電動工具の安全上のご注意	2
ダイヤモンドコアドリルの使用上のご注意	5
各 部 の 名 称	6
仕 様	7
標 準 付 属 品	7
別 売 部 品	8
用 途	10
作業前の準備	10
ご 使 用 前 に	11
使 い 方	13
保 守・点 検	18
ご修理のときは	裏表紙

警告、 注意、 注 の意味について

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
 - 電動工具を使用中、体をアース（接地）されている物に接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

警告

- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引いてコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のつがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
 - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
 - 継ぎ（延長）コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
 - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしであることを確認してください。
- ⑰ **不意な始動は避けてください。**
 - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - さし込みプラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ **屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。**
 - 屋外で継ぎ（延長）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

警告

⑱ 油断しないで十分注意して作業を行ってください

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑲ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

⑳ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外の物を使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉑ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

回 二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に  マークで表示してあります。

純正品以外の部品と交換したり、間違って組み立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

ダイヤモンドコアドリルの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ダイヤモンドコアドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 湿式用で穴あけする場合、特に感電に注意してください。
 - 漏電しゃ断器を設置して使用してください。
 - 作業中は、必ずゴム手袋・ゴム長ぐつを着用してください。なお、破れたり、穴のあいたゴム手袋・ゴム長ぐつは、直ちに新品と交換してください。
- ③ 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ④ 上向きの穴あけはしないでください。
本機は水を使用するため、上向きの穴あけは、水がモーター内部に入り、感電の恐れがあります。
- ⑤ 使用中は、振り回されないよう両手で機体を確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ⑥ 湿式用で穴あけする場合、必ず注水してください。
注水しないで使用すると、ダイヤモンドコアビットの刃先が破損し、けがの原因になります。
- ⑦ 使用中は、ダイヤモンドコアビットや錐に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ⑧ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑨ 誤って落としたり、ぶつけたときは、ダイヤモンドコアビット、錐や機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

②



②



⚠ 注意

- ① **ダイヤモンドコアビット、錐や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② **高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。**
また、コードを引っ掛けたりしないでください。
材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- ③ **床に穴をあける場合は、階下の人や物に注意してください。**
貫通時に切削コアがダイヤモンドコアビット内から抜け落ち、けがの原因になります。また、切削水もかかります。
- ④ **回転させたまま、台や床などに放置しないでください。**
けがの原因になります。

各部の名称

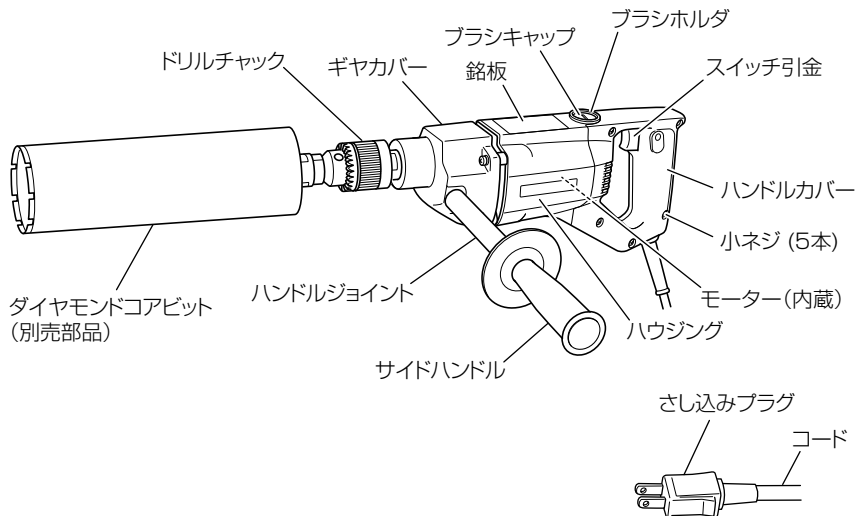


図 1

仕 様

	使 用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V
最大穴あけ能力	ダイヤモンド コアビット	120 mm 穴あけ深さ 給水タンク使用時 180 mm スイベルアダプタ使用時 250 mm
	ALC用ホールソー	160 mm
	モルタルホールソー	100 mm
	鉄工用ホールソー	60 mm
	木工用ホールソー	120 mm
	鉄工用ドリル	13 mm
	木工用ドリル	30 mm
全 負 荷 電 流	8 A	
消 費 電 力	760 W	
無 負 荷 回 転 数	1,100 min ⁻¹ { 回 / 分 }	
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター	
質 量	3.0 kg (コードを除く)	
コ ー ド	2 心キャブタイヤケーブル 2.5 m	

標準付属品

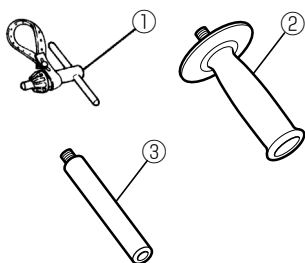


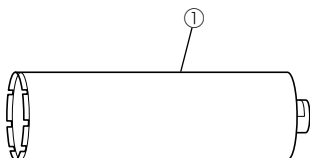
図 2

- ① チャックハンドル 1 個
- ② サイドハンドル 1 個
- ③ ハンドルジョイント 1 個

別売部品

……………（別売部品は生産を打ち切る場合があります。）

湿式用



① 湿式ダイヤモンドコアビット :9 種類 (アダプタ、給水タンク付)

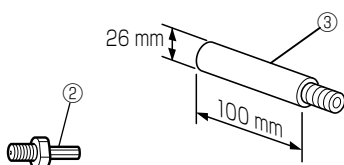
コア径

単位 : mm

27	32	38
54	65	80
90	105	120

注) 27mm と 32mm のダイヤモンドコアビットには給水タンクがありません。

⑤ スイベルアダプタとの組み合わせにより注水し、使用してください。

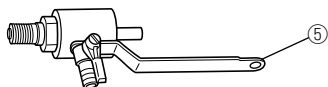
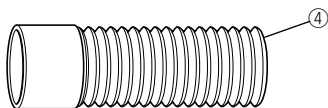


② アダプタ

③ 中間ロッド

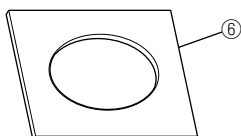
深穴あけに使用する物で、② アダプタや⑤ スイベルアダプタとダイヤモンドコアビットの間に取付ける延長棒です。

④ 給水タンク……27 mm と 32 mm を除く各コア径サイズ有

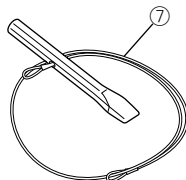


⑤ スイベルアダプタ

⑥ 芯出しシート……各コア径サイズ有

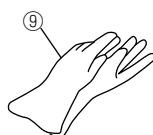
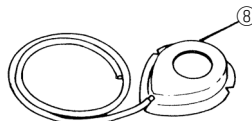


⑦ コア抜きワイヤ



⑧ 水処理パッド : 穴あけ時の汚水飛散防止用

⑨ ゴム手袋



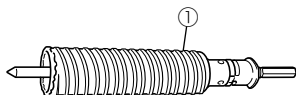
乾式用

① ハイパーダイヤコア

用途：断熱材入り複合壁・ALC・セメント材・
サイディングなどの穴あけ

コア径

単位：mm



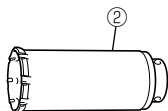
29	32	35	38
50	65	75	80
100	110	120	160

② スーパーウッドガルバコア

用途：木材・窯業系サイディング・
金属系サイディングなどの穴あけ

コア径

単位：mm



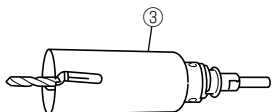
29	32	35	38
50	65	75	80
100	110	120	160

③ スーパーウッドコア

用途：木材・窯業系サイディング・
金属系サイディングなどの穴あけ

コア径

単位：mm



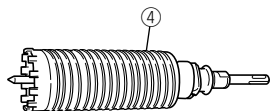
29	32	35	38
50	65	75	80
100	110	120	160

④ スーパーダイヤコア

用途：鉄筋コンクリート・PC コンクリート・
モルタルなどの穴あけ

コア径

単位：mm



29	32	35	38
50	65	75	80
100	110	120	—

⑤ センターピン



⑥ ガイドプレート

各コア径サイズ有



用 途

- 冷暖房、電気、電話、水道、ガスなどの配管、配線分野における鉄筋コンクリート、ALC 板、およびモルタルの穴あけ
- 鉄工錐、木工錐を使用して各種金属、木材および樹脂材料などの穴あけ

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1. 漏電しゃ断器の確認……………

ご使用にさきだち、本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置が設置されているか、確認してください。

2. 継ぎ（延長）コード……………



警告

- 継ぎ（延長）コードは、損傷のない物を使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なく使用していただくため、電流を流すのに十分な太さの物をできるだけ短くして使用してください。

コードの太さ (mm ²) (導体公称断面積)	最大の長さ (m)
1.25	10
2	15
3.5	30

左表は使用できるコードの太さと、最大の長さです。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

3. 作業環境の整備・確認……………

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠警告

- 使用前に次のことを確認してください。1～5項については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる…………

必ず銘板に表示してある電源で使用してください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。

また、直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. 漏電しゃ断器を設置する…………

必ず漏電しゃ断器を設置してください。

3. サイドハンドルの取付け…………

⚠警告

- ダイヤモンドコアビット、ALC 用またはモルタル用ホールソーで穴をあけると大きな反力が腕にかかります。必ずサイドハンドル、ハンドルジョイントを取付け、機体を確実に保持して使用してください。

サイドハンドル、ハンドルジョイントはギヤカバーの取付け穴に確実にねじ込んでください。(図 1 参照)

4. 湿式ダイヤモンドコアビット、ALC 用またはモルタル用ホールソー、錐を取付ける…………

⚠警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

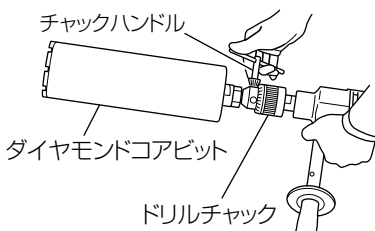


図 3

ドリルチャックの3本のつめを開いて、ダイヤモンドコアビット、ALC 用またはモルタル用ホールソーや錐の柄がチャックの穴の奥に必ず当たるように入れ、チャックハンドルで確実に締めてください。

チャックハンドルを入れる穴は3カ所あります。1カ所できつく締めず3カ所を順次均等に締めてください。

取りはずしは、上記と逆手順に行ってください。

5. 先端工具の選び方…………

(1) 鉄筋コンクリートの穴あけ

弊社製 ダイヤモンドコアビットを使用してください。
使用できるダイヤモンドコアビット径は最大 120 mm です。

(2) 断熱材入り複合壁・ALC・セメント材・サイディングなどの穴あけ

弊社製 ハイパーダイヤコアを使用してください。
使用できるコア径は最大 160 mm です。

(3) 木材・窯業系サイディング・金属系サイディングなどの穴あけ

弊社製 スーパーウッドガルバコア、またはスーパーウッドコアを使用してください。
使用できるコア径は最大 160 mm です。

(4) 鉄筋コンクリート・PC コンクリート・モルタルなどの穴あけ

弊社製 スーパーダイヤコアを使用してください。
使用できるコア径は最大 120 mm です。

(5) 金属・プラスチックなどの穴あけ

市販の鉄工錐を使用してください。
使用できる錐径は最小 1.2 mm、最大 13 mm です。

(6) 木材の穴あけ

市販の木工錐を使用してください。ただし、6.5 mm 以下の細い穴をあける場合は、市販の鉄工錐を使用してください。使用できる錐径は最大 30 mm です。

注 •最大能力以上の先端工具を使用すると、本機の寿命を著しく短くしますので絶対に使用しないでください。

6. 電源コンセントの点検…………

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタついたり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などに相談してください。
そのまま使用すると、過熱して事故の原因になります。

使 い 方

1. スイッチの操作……………

スイッチは指でスイッチ引金を引くと入り、はなすと切れます。

2. 湿式ダイヤモンドコアビットでの鉄筋コンクリートの穴あけ手順……

(1) ダイヤモンドコアビットへ給水タンクを入れる

⚠ 警告

• 機体に水がかからないようにしてください。モーター内部に水が入ると、感電の恐れがあります。

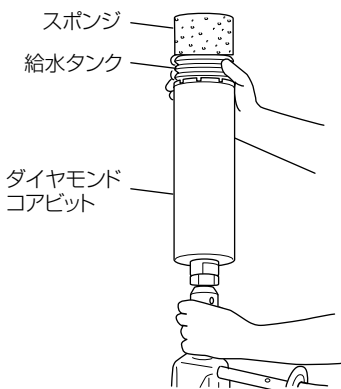


図 5

- (イ) 給水タンクに付いているスポンジをゆっくりと引きはがします。スポンジを引きはがす際は給水タンク内に組み込まれているプレートを押さながら行ってください。
- (ロ) 給水タンク内にほぼ満杯になるように水を入れます。
- (ハ) スポンジを水にひたした後、十分しぼり、給水タンクに付けます。
- (ニ) 給水タンクをダイヤモンドコアビット内にゆっくりと入れます。

注 • 27 mm と 32 mm のダイヤモンドコアビットには給水タンクがありません。別売部品のスイベルアダプタ (8, 16 ページ参照) により注水し、使用してください。

注 • 給水時にスポンジを強く引くと、給水タンク内に組み込まれているプレートがはずれる場合があります。

もし、はずれた場合は下記の要領で組み込んでください。

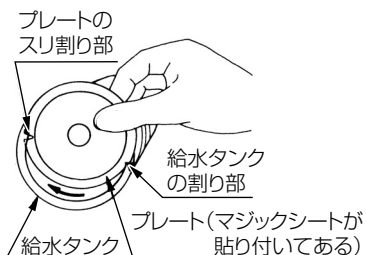


図 6

図 6 のようにプレートのスリ割り部を給水タンクの割り部に対して 180° ずれた位置に合わせ、プレートの半分をさし込みます。

次にプレートを矢印方向に回転させ、給水タンクにプレートの全周を組み込みます。

(2) 穴あけ位置を決める

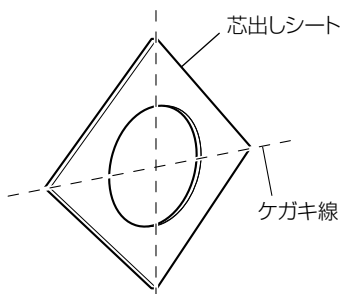


図 7

(イ) 穴あけ箇所の水分、汚れなどを良くふき取った後、芯出しシートを貼り付けます。

貼り付け面の凸凹が大ききときは、粘着テープ(ガムテープなど)を合わせて使用しますと効果的です。

なお、図 7 のように、あらかじめケガキ線を引いておき、芯出しシートの 4 つ角をケガキ線に合わせると正確な芯出しができます。

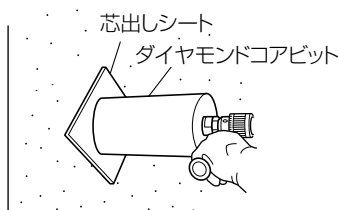


図 8

(ロ) 機体がコンクリート面に対し、真っすぐになるようにダイヤモンドコアビットを押し当てます。

3～5mm の深さに切削したら、スイッチを切り、ダイヤモンドコアビットを抜きます。



図 9

(ハ) 芯出しシートをコンクリート面からはがし、案内溝ができていることを確かめます。

(3) 穴あけ作業

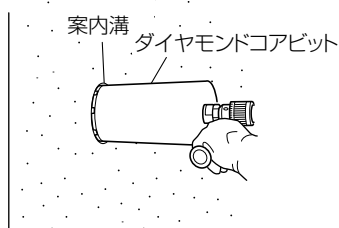


図 10

(イ) 案内溝にダイヤモンドコアビットを当てがい、スイッチを入れて一定の推力で穴あけをします。

(ロ) 穴あけ途中で鉄筋、異物に当たったときは推力を弱めてください。そのまま押し、スリックラッチが作動し、ダイヤモンドコアビットが回転しなくなります。

また、ダイヤモンドコアビットの寿命を著しく低下させます。

スリップクラッチについて 本機は、スリップクラッチ付きですので、ダイヤモンドコアビットまたは錐に所定のトルクがかかると、スリップクラッチが作動し、ダイヤモンドコアビットまたは錐にモーターの回転が伝わらない構造になっております。

- 注** ●スリップクラッチが作動したときは、すぐに機体を引いてください（作動時間を2秒以内にします）。
また、スリップクラッチを頻繁に作動させないでください。

- (ハ) 鉄筋の切り終り際には、さらに力を弱めてください。そのまま押すと、鉄筋にカエリが出て、そのカエリにより、ダイヤモンドコアビットが抜けなくなる場合があります。
- (ニ) 穴あけ終了後は、スイッチを切り、ダイヤモンドコアビットを穴から抜いてください。抜いた後、ダイヤモンドコアビット内部を点検し、抜きかすが残っている場合は、取り除いてから次の穴あけを行ってください。

⚠注意

- 穴あけ完了時は、切削コアの飛び出しに注意してください。
特に高所作業のときは、切削コアの落下に十分注意してください。

- 注** ●ダイヤモンドコアビットは必ず注水して使用してください。
注水しないで使用しますと、刃先が破損したり、ダイヤモンドコアビットの寿命が低下します。
- 穴あけ作業は必ず水が出ていることを確認しながら行ってください。水の出方が少なくなったときは機体を少し引き戻し（20～30mm）、再度押すと水の出方が良くなります。この操作を行っても水の出方が少ないときは、スイッチを切ってダイヤモンドコアビットを抜き、水を補給してください。

(4) 給水タンク使用上の注意

本機の最大穴あけ深さは180mmです。180mm以上穴あけをしますと、給水タンクが早期に破損しますので絶対に行わないでください。

別売部品の間口ロッドを使用して180mm以上の穴あけする際は、切削コアを取り除いて使用してください。

(5) 貫通穴あけでない場合

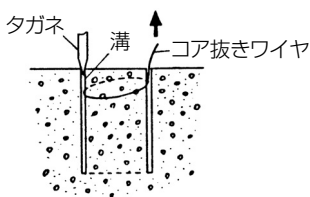


図 11

止まり穴をあけた場合の切削コアの抜き取り方法は次のように行います。

- (イ) 図11のようにタガネを打ち込み切削コアの底部を切りはなします。

- (ロ) 図11のようにワイヤを切削コアにかけて抜きます。

別売部品にタガネとコア抜きワイヤのセットが用意してあります。

(6) 穴あけ作業後は

穴あけ作業後は、機体に付いている水滴を乾いた布で良くふき取ってください。ダイヤモンドコアビットおよび給水タンクは良く水洗いし、水分をふき取り、乾燥した場所に保管してください。

注 • スポンジを完全に乾燥させないでダイヤモンドコアビット内に入れたままにしておきますと、ダイヤモンドコアビットがさびてしまい、スポンジが取れなくなります。またスポンジが早期に破損しやすくなりますので十分注意してください。万一、取れなくなりましたら、スポンジに水を十分にひたした後、静かにスポンジを引き上げれば取り出すことができます。

(7) ダイヤモンドコアビットについて

ダイヤモンドコアビットは被削材の種類、状態によって性能および寿命が変化しますので注意してください。

- ① 石材などのかたい材料に穴あけをしますと、切れ味が低下することがあります。

切れ味が低下した際は、コンクリートブロックや使用済みの砥石などに穴をあけて、ダイヤモンドチップのドレッシング（目出し）を行ってください。

- ② コンクリートブロックや打ち込み日数の浅いコンクリートなどに穴あけしたときは、ダイヤモンドチップの摩耗が早く、寿命が著しく短くなります。

3. スイベルアダプタ（8 ページの別売部品の⑤ 参照）の使い方……………

本機は給水タンク以外にも、スイベルアダプタを使用して注水することができます。給水タンクと違い、常時ダイヤモンドコアビットに水を供給できるのでさらに能率の良い穴あけ作業ができます。

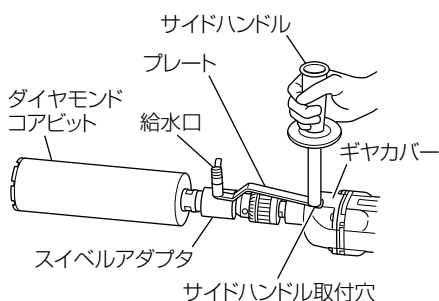


図 12

- (1) ダイヤモンドコアビットにねじ込まれているアダプタをはずし、ダイヤモンドコアビットにスイベルアダプタをねじ込んでください。
- (2) ギャカバーのサイドハンドル取付穴にプレートを合わせ、サイドハンドルをねじ込んでください。
- (3) 給水には水道からひいたホース（内径 15 mm）をつないでください。
- (4) 注水量の目安としてホースより出た水が鉛筆大の太さ（8 ～ 10 mm）に流れる程度にしてください。

4. 水処理パッド (8 ページの別売部品の⑧参照) の使い方…………

本機にダイヤモンドコアビットを取付けてコンクリート、タイルなどの穴あけ作業を行う際、汚れた水の飛散を防止するために使用します。

(1) 穴あけ箇所をきれいにする

穴あけする箇所の周囲の水分、汚れ、コンクリート粉などを良くふき取ります。

(2) 穴あけ位置に芯出しシートと水処理パッドを貼り付ける

- ① 穴あけ位置に引いたケガキ線に合わせ、芯出しシート (別売部品) を貼り付けます。
- ② 水処理パッドの外周にある溝をケガキ線に合わせて位置決めし、リップが壁面に密着するように、粘着テープ (ガムテープ等) で固定します。

注 ●穴あけ途中で水を補給し、再度穴あけする際は、ダイヤモンドコアビットをゆっくり挿入してください。勢いよく挿入すると、給水タンク内の水が内周部から外にこぼれる場合があります。

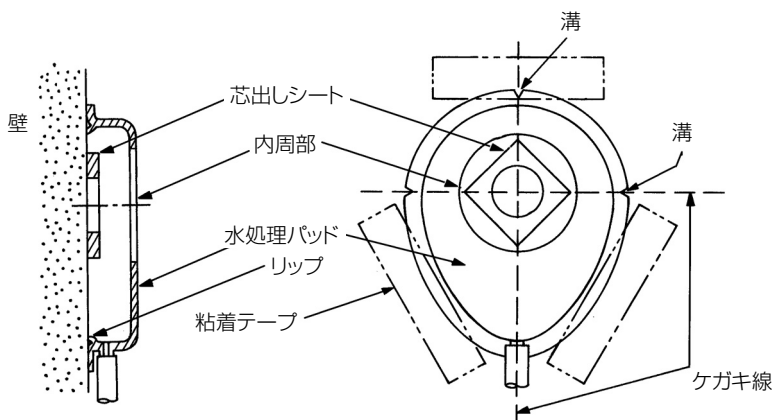


図 13

保守・点検

⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1. ダイヤモンドコアビットの点検……………

摩耗したダイヤモンドコアビットを使用すると切れ味が悪くなりモーターに無理をかけることになります。また能率も落ちますから早めに新品と交換してください。

2. 機体の点検……………

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

3. カーボンブラシの点検……………

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。
カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度 (6 mm ぐらい) になりましたら新品と交換してください。

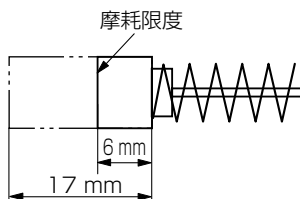


図 17

また、カーボンブラシはごみなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由に滑るようにしておいてください。

注 •新品と交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシを使用してください。

交換方法

カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでブラシキャップ (図 1 参照) をはずしますと取り出せます。

4. モーターの取扱いについて……………

モーター（内蔵）(P.6「各部の名称」参照）に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

- 注** ●モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。
50 時間ぐらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングのスイッチ側風穴から吹き込んでください。ごみやほこりの排出に効果があります。

5. 表面の清掃……………

機体の外枠は強じんな合成樹脂製ですが、ガソリン、シンナー、石油、灯油類を付着させると表面を傷めます。

清掃の場合は、乾いた布か石けん水を付けた布などでふいてください。

6. ゴム手袋・ゴム長ぐつの点検……………

ゴム手袋およびゴム長ぐつに破損がないか点検してください。破れがあるときは新品と交換してください。

7. 機体や付属品の保管……………

下記のような場所は避け、温度が 50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
- 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
- 温度が急変する場所
- 直射日光の当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

メ ㇿ

メ ㇏

メ ㇿ

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00 ~ 17:00	
●フリーダイヤル  0120-20-8822	※携帯電話からはご利用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。 ※長くお待ちする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 786-5122	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 6738-0872	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認い
ただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>